

平成29年度

事業計画書

平成29年 4月 1日から
平成30年 3月31日まで

公益財団法人米沢上杉文化振興財団

目 次

(平成29年度事業計画書)

I. 平成29年度公益財団法人米沢上杉文化振興財団の目標及び方針	・・・	1ページ
II. 公益目的事業		
(1) 展示事業	・・・	3ページ
(2) 教育・普及事業	・・・	7ページ
(3) 資料収集・調査・整理・保管事業	・・・	12ページ
(4) 芸術文化活動の支援・鑑賞事業	・・・	15ページ
(5) 芸術文化活動のための施設貸与事業	・・・	17ページ
(6) 伝国の杜サポーター運営事業	・・・	17ページ
III. 収益等事業1		
ミュージアムショップ事業	・・・	18ページ
IV. 収益等事業2		
施設貸与事業	・・・	18ページ
V. 収益等事業3		
伝国の杜ファンクラブ事業	・・・	19ページ
VI. 管理部門		
管理部門	・・・	19ページ

平成 29 年度 公益財団法人米沢上杉文化振興財団の目標及び方針

- 基本理念** 市民と協働し、地域文化の創造・振興拠点をめざす
- 目 標** 郷土愛を育み、教育、学術及び文化を振興し、広域交流を促進する

運営方針

- (1) 心豊かな潤いのある地域社会の創造に寄与する
貴重な地域資源を活かして市民の教育、学術及び文化の振興を図り、心豊かな潤いのある地域社会の創造に寄与するとともに、利用者の期待に応える運営に努め、魅力ある文化交流拠点をめざす。
- (2) (1)を実現するため次の諸事業を推進する
 - ① 必要な図書、記録、資料の収集、保管、調査研究、公開展示及び利用に関する事業
 - ② 教育・学術・文化施設との連携及び教育普及に関する事業
 - ③ 芸術・文化活動の創造、支援及び鑑賞機会の提供に関する事業
 - ④ 歴史・芸術・文化活動拠点の運営等に関する事業
- (3) 指定管理者として適正な運営に努める
米沢市上杉博物館と座の文化伝承館の指定管理者及び置賜文化ホールの運營業務補助者として、また、図書館、市民ギャラリー及びまちなか駐車場の指定管理者として、主管課と連携を密にし、関係法令と基本協定書等を遵守して適正な運営に努める。

事業活動方針

- (1) 必要な図書、記録、資料の収集、保管、調査研究、公開展示及び利用に関する事業
 - ・ 上杉家・米沢藩ゆかりの資料及び郷土作家作品の収集と調査研究を体系的に進める。
 - ・ 地域の人々が郷土に誇りと愛着をもち、観光客に感動を呼ぶ魅力的な展示をめざす。
 - ・ 市民に必要なかつ有用な図書・記録等の収集に努め、広く利用に供し、相談に応じる。
 - ・ 文化財等の適正な保存・管理に努め、収蔵文化財総合データベースの充実を図る。
- (2) 教育・学術・文化施設との連携及び教育普及に関する事業
 - ・ 家庭教育の向上や学校の学習活動の支援に力を注ぎ、子どもの読書活動を推進する。
 - ・ 日常的な地域学習の場となる多様なプログラムを用意し、学社連携を推進する。
 - ・ 生涯学習施設また地域の交流拠点として、市民の学習と活動の機会を提供する。
 - ・ 市民の経験や知識及びボランティアと協働し、各施設のサービスの充実を努める。
- (3) 芸術・文化活動の創造、支援及び鑑賞機会の提供に関する事業
 - ・ 優れた作品や舞台芸術に親しむ機会を提供し、芸術・文化活動の創造気運を高める。
 - ・ 充実した展示機能で新たな芸術活動にも対応し、市民の活動成果を広く公開する。
 - ・ 活動を楽しみ交流する場を提供し、次世代を担う子どもや若手芸術家を育成する。
 - ・ 能舞台を活用して伝統芸能の継承・普及につながるプログラムを展開する。

(4) 歴史・芸術・文化活動拠点の運営に関する事業

- ・ 上杉家・米沢藩及び郷土作家研究の拠点として、広く開かれた施設をめざす。
- ・ 市民の伝統文化活動を支援するとともに、歴史・芸術・文化の情報発信に努める。
- ・ 利用者の声を集め反映する仕組みを整え、市民に開かれた運営をめざす。
- ・ まちづくりネットワークと連携し、にぎわいと活力あるまちづくりに寄与する。

(5) 財団の適正な運営に関する事業

- ・ 公共施設であることを念頭に、経営基盤の安定と利用者及び収入の確保に努める。
- ・ 施設個々の機能の向上と発揮に努めるとともに、施設相互の適切な連携を進める。
- ・ 米沢・上杉の歴史と文化を発信し、文化及び観光の交流拠点をめざす。
- ・ 入場者と職員の安心・安全を第一に、施設設備の保守及び危機管理に取り組む。
- ・ 複数の内部評価・外部評価に取り組み、運営やサービスの改善に努める。

I 公益目的事業
地域における歴史・芸術文化の振興を図るための事業

1. 展示事業

目的

地域の歴史や文化、芸術への興味・関心を喚起し、市民が郷土に誇りと愛着を持ち、観光客に感動を呼ぶ魅力的な展示を目指す。

事業

(1) 米沢市上杉博物館企画展示事業

米沢市上杉博物館企画展示室において年間6本の企画展を開催する。さらに、利用者の理解に資するため、会期中に講演会やギャラリートークを実施する。

また、平成30年度以降の企画展開催に向けた準備を進める。

①企画展

4月29日(土・祝) ～6月18日(日) [開催日数50日間]	特別展「戦国時代展 - A Century of Dreams -」 (※前後期制 前期:4/29(土祝)～5/23(火)、後期:5/25(木)～6/18(日))
6月24日(土) ～7月23日(日) [開催日数29日間]	企画展「生誕100年 遠藤桑珠」
7月29日(土) ～9月18日(月・祝) [開催日数51日間]	企画展「ドールズハウスへの招待2 ～ミニチュア世界の扉を開く～」
9月23日(土・祝) ～10月22日(日) [開催日数30日間]	特別展「上杉家の名刀と三十五腰」
10月28日(土) ～1月14日(日) [開催日数67日間]	コレクション展「新収蔵品展」(仮題)
2月3日(土) ～3月18日(日) [開催日数39日間]	コレクション展「米沢ゆかりの絵師たち パート4」(仮題)

②次年度以降の展覧会の準備に関すること

- ・上杉謙信関連の調査
- ・上杉家古写真調査
- ・上杉家旧蔵資料の調査
- ・武家文書の古文書学的調査
- ・伊達家関連資料調査
- ・上杉家・米沢藩能楽関連調査
- ・洛中洛外図に関する研究
- ・福王寺法林展にむけた調査
- ・上杉景勝関連の調査
- ・直江兼統関連の調査
- ・上杉家家臣団関連の調査
- ・上杉家武器・武具関連調査
- ・米沢藩内医師とその交流調査
- ・米沢藩幕末・明治期に関する調査
- ・後藤克芳展にむけた調査

(2) 米沢市上杉博物館常設展示事業

米沢市上杉博物館常設展示室における資料や設備・機器の更新やメンテナンスを計画的に進め、より良い展示環境の維持に努める。また、同展示室内の上杉文華館では、「謙信を生んだ一族・長尾氏」を年間テーマに、国宝上杉家文書を読み解いていく展示を12の小テーマで開催する。日程は下記のとおり。

◇上杉文華館スケジュール

①	3月28日(火) ~ 4月28日(金)	「室町幕府のもとで①細川高国と」
②	4月29日(土祝) ~ 5月28日(日)	「室町幕府のもとで②特権付与」
③	5月29日(月) ~ 6月27日(火)	「室町幕府のもとで③贈答」
④	6月29日(木) ~ 7月25日(火)	「為景、越中へ」
⑤	7月27日(木) ~ 8月22日(火)	「越中の攻略」
⑥	8月24日(木) ~ 9月26日(火)	「外征の苦悩」
⑦	9月28日(木) ~ 10月24日(火)	「為景への期待～関東から」
⑧	10月26日(木) ~ 11月21日(火)	「文化交流」
⑨	11月23日(木祝) ~ 12月24日(日)	「越後武士を支配下へ」
⑩	1月1日(月祝) ~ 1月28日(日)	「為景の苦境」
⑪	1月30日(火) ~ 2月25日(日)	「朝廷を頼りに」
⑫	2月27日(火) ~ 3月25日(日)	「兄晴景」

(3) 市立米沢図書館展示事業

市立米沢図書館の先人顕彰コーナーにおいて年間6本の展示を開催する。また郷土資料コーナーでは、古典籍・古文書等の特色ある収蔵資料をもとにした展示を展開し、利用者の理解に資するため、会期中に講演会や講座を実施する。また、7月でナセBAが開館1周年となることから、これを記念した展示を行う。

◇先人顕彰コーナー展示スケジュール

4月28日(金) ～ 6月21日(水) [開催日数54日間]	「藁科松伯展」
6月23日(金) ～ 8月23日(水) [開催日数61日間]	ナセBA開館1周年記念「米沢図書館展」
8月25日(金) ～ 10月25日(水) [開催日数61日間]	「洋画Ⅰ 椿貞雄展」
10月27日(金) ～ 12月27日(水) [開催日数63日間]	「我妻栄展」
1月4日(木) ～ 1月24日(水) [開催日数21日間]	図書館の絵図展3「学館(興讓館)絵図と武芸所絵図」
1月26日(金) ～ 3月21日(水・祝) [開催日数54日間]	「洋画Ⅱ 土田文雄展」

◇郷土資料コーナー展示

3月1日(水) ～ 4月30日(日)	はんろう 飯糧集
5月1日(月) ～ 6月30日(金)	沙石集
7月1日(土) ～ 8月31日(木)	流虬百花譜
9月1日(金) ～ 10月31日(火)	古典籍(古典文学講座で取り扱うテーマの資料を展示)
11月1日(水) ～ 12月27日(水)	道中絵図
1月4日(木) ～ 2月28日(水)	古典籍
3月1日(木) ～ 3月31日(土)	歴史資料

(4) よねざわ市民ギャラリー展示事業

市内の芸術文化団体や米沢市上杉博物館と連携しながら展示を行い、市民の芸術鑑賞の機会を広げる。また、ナセBAの開館1周年を記念し、「おはなしのへや」のステンドグラスデザインを手掛けた米沢ゆかりの漫画家の作品展示を開催することで中心市街地のにぎわい創出につなげる。

4月 1日 (土) ～ 5月 3日 (水・祝) [開催日数46日間]	「春・桜・祭 展」 「春・桜・祭」テーマは4/1 (土)～5/2 (火)、 5/3 (水祝)は「祭」テーマのみ
7月 8日 (土) ～ 8月20日 (日) [開催日数46日間]	ナセBA開館1周年記念「ますむらひろし原画展」
10月17日 (火) ～10月22日 (日) [開催日数6日間]	「宮島詠土展」
3月17日 (土) ～ 3月25日 (日) [開催日数9日間]	「ARTS MEET OKITAMA 2018」
時期未定	「ARTS MEET OKITAMA 2017大賞展」
① 3月24日 (金) ～ 6月28日 (水) ② 6月29日 (木) ～ 9月27日 (水) ③ 9月28日 (木) ～12月20日 (水) ④12月21日 (木) ～ 3月21日 (水・祝)	オープンギャラリー展示 椿貞雄、浜田浜雄、土田文雄、黒澤梧郎、後藤克芳、我妻碧宇、 本間国生、福王寺法林、遠藤桑珠、桜井祐一等米沢ゆかりの作家 10名の上杉博物館蔵作品を展示

(5) 米沢市座の文化伝承館展示事業

米沢市座の文化伝承館の指定管理者として実施する展示事業。蔵の特性を活用した事業を行い、地域の歴史・文化の紹介に努める。

5月24日 (水) ～ 6月 5日 (月) [開催日数：12日間]	「昭和の息吹 中村隆行 (ペーパークラフト) と 故小貫幸太郎 (古写真) より」
---	---

2. 教育普及事業

目的

- (1) 家庭教育の向上や学校の学習活動の支援に力を注ぎ、子どもの読書活動を推進する。
- (2) 日常的な地域学習の場となる多様なプログラムを用意し、学社連携を推進する。
- (3) 生涯学習施設また地域の交流拠点として、市民の学習と活動の機会を提供する。

事業

地域の歴史・文化や民俗・風習、美術・工芸、伝統的な手わざの理解とそれらの継承・普及のための体験プログラムを提供する。また、歴史や美術、文学、読み聞かせ等の充実した体験学習を通して、子どもたちの個性や地域の文化を尊重し合う意識を育て、「生きる力」や「想像力」を育む事業を展開する。

(1) 教育事業

① プレイショップの展開（米沢市上杉博物館体験学習室・常設）

季節企画では季節の風物を置賜の民俗風習と絡めながら紹介する。郷土玩具やひな人形の展示も組み込んでいく。造形体験では、さまざまな素材や技法に触れることのできる幅広いプログラムを提供する。

◇月ごとテーマの設定

	季節企画	造形体験プログラム
4月	二十四節気①	フロッタージュであそぼう
5月	端午の節句 ※五月人形展示	
6月	二十四節気②	切り紙でつくろう
7月	七夕	
8月	盂蘭盆会	クレヨンVS水彩えのぐ ～パチックあそび～
9月	重陽の節句	
10月	お月見	紙でつくる立体のお花
11月	七五三	
12月	デザイナーズチェアをたのしもう	型絵染でカードをつくろう
1月	お正月 ※郷土玩具と干支の展示	
2月	節分	紙ねんどでつくる春の和菓子
3月	桃の節句・雛人形 ※ひな人形展示	

② ワークショップの開催（米沢市上杉博物館）

五感や身体感覚を使ったプログラム、また、博物館の特徴を活かしたプログラムの開発と展開を行う。

募集制プログラム

◇やってみよう・感じてみよう

“つくる”ことをテーマに参加者の発想をかたちにするワークショップ。

7月	色とあそぼう！～そらのいろ・くものいろ～	未就学児
7月	夏のカラーハンティング～色をつかまえよう！～	小学生以上
9月	和の時間 はじめての型絵染～用の美をつくる～	中学生以上
10月	羊毛フェルトに挑戦！ーきほんのきほんー	小学4年生以上
〃	紋切りあそび～折りが生み出す美しい形～	中学生以上
11月	だれもしらない博物館～博物館バックヤードツアー～	どなたでも
〃	粘土でクリスマスオーナメント	中学生以上
12月	ムーミンのクリスマスカードをつくろう	小学生以上

◇夏休み ものづくりルーム シーズン7（毎年実施、本年は7年目）

8月	水彩で描こう	小中学生
〃	包む・結ぶ・折る～紙と風呂敷で学ぶ日本のこころ～	小学3年生以上
〃	スポットでにじみ絵あそび！	年長児
〃	切り絵のステンドグラス	小中学生
〃	ミニチュアスイーツのパティシエになろう！	小中学生

◇鑑賞の時間 ^{とき} ナイトツアーようこそ夜の博物館へ

夜の博物館でゆっくり作品を鑑賞できるワークショップ。

5月	洛中洛外図をたのしむ	どなたでも
6月	遠藤桑珠 作品と作者の魅力にふれる	どなたでも

◇体感ミュージアム

博物館の裏側を知ってもらい、その存在価値を理解してもらおうワークショップ。

通年	きみもチルドレンキュレーターズ 学芸員になろうXIII (全11回程度の連続事業)	小学4年生～ 高校生
----	--	---------------

◇アウトリーチ

学童保育やPTA親子事業への出前ワークショップの展開

自由参加制プログラム

5月	かわりかぶとに挑戦！
6月	笹巻っていいなあ・・・

7月	むかしむかしを聞こう (全3回) 語り：米沢とんとむかしの会 (伝国の杜事業協力者)
9月	
10月	

③市立米沢図書館の教育事業の開催

子どもの読書活動の推進に関する事業（「米沢市子ども読書活動推進計画」に基づく）や、蔵書を活用した事業を行う。また、図書や郷土資料を通じ市民に多様な学びを提供する事業を展開する。さらに、図書館各事業や季節行事・社会情勢に合わせた関連書籍を取り上げる特集コーナーを設ける。

◇子どもの読書活動を推進する事業

6月 5日 (月) 6月 19日 (月)	アタゴオルによる絵本読み聞かせ	幼児
4月、9月、12月	小学校巡回文庫	市内全小学校
毎月1～2回	ブックスタート	7か月児 その保護者
毎月第2土曜日 毎月第3土曜日 毎月第4金曜日	おはなしかい 読み聞かせ：図書館職員・サポーター 毎月第4金曜日はサークル夢空間	乳幼児～小学生
12月12日 (火) ～12月17日 (日)	平成29年度 米沢市小中学生読書感想画展	

◇2017夏休み子ども図書館フェア

7月27日 (木)	小学生向けバックヤードツアー	幼児～小学生
7月28日 (金)	おはなしかい (読み聞かせ団体)	
7月29日 (土)	てづくりのへや	
7月30日 (日)	おはなしかい (しかけ絵本など)	

◇2017読書週間図書館フェア

10月26日 (木)	バックヤードツアー
10月29日 (日)	フィルムコート体験
11月 3日 (金祝)	大人のためのブックトーク
11月 4日 (土) 11月 5日 (日)	雑誌のリサイクル市

◇BBO (Book! Book! Okitama) 共催 募集制ワークショップ

10月 1日 (日)	亀山達矢氏 (絵本作家 tupera tupera) ワークショップ	幼児～小学生 その保護者等
------------	---------------------------------------	------------------

◇多様な学びを提供する事業

8月27日(日) 9月3日(日)	第61回 古文書解読講座
9月6日(水) 9月13日(水) 9月20日(水)	第28回 古典文学講座
10月4日(水) 10月11日(水) 10月18日(水)	第32回 ふるさと歴史講座
10月～11月	こどもふるさと歴史講座 対象：西部小学校6年生、関根小学校全校生

④講演会の開催

米沢市上杉博物館、市立米沢図書館の展示等事業にあわせた講演会やシンポジウムをその会期中に開催する。

博物館2回、図書館1回以上

⑤地域・学校との連携

ミュージアムスクールや出前授業等博物館を活用した学習機会の提供と支援、学校図書館との連携を行う。また、チャレンジウィークやインターンシップ等の受け入れを行う。

近隣の交流館と連携した事業の展開についても検討する。

⑥展示解説

米沢市上杉博物館企画展等にあわせてその会期中に開催する。

◇ギャラリートーク (年間10回以上実施)

◇コレクショントーク (年間12回程度実施)

⑦米沢市上杉博物館情報ライブラリーの展開と更新

図書やデジタルコンテンツを配置・拡充して利用者に供するとともに、展示や館の活動に関する質問対応、地域学習の素材や方法論の提供などの参考業務を行う。

⑧特別利用・掲載利用・資料貸与

条例等の基準に照らし適正に許諾・貸出業務を行う。

⑨レファレンス

収蔵資料、展覧会関連資料、置賜地域の歴史・芸術などにかかわる質問に対応する。博物館・図書館で連携しながら、利用者の調査に資するレファレンスツールの充実に努める。

⑩市民茶会の開催

米沢市座の文化伝承館で実施する事業。日本の伝統文化のひとつである茶道に気軽に親しむことのできる機会として、米沢市茶道連合会の協力を得て開催する。

6月18日(日)	第27回 市民茶会
----------	-----------

(2) 普及事業

①出版

米沢市上杉博物館年報（平成28年度版）と伝国の杜だより（年間2回）、図書館だより（年間4回）を発行し、施設の事業活動を協力者や市民に対して紹介する。

②事業告知活動

施設利用の増進のために、以下の活動を行う。

◇広報媒体を用いた告知

- ・事業告知チラシ、ポスター等の作成と発送
- ・事業告知看板の作成
- ・ホームページやブログ、フェイスブック等Web媒体の更新と充実
- ・広報よねざわへの事業告知及び図書館の新刊案内等の掲載

◇中高生の「無料観覧証」や無料入館日、開館延長等の関係機関への案内と周知

◇伝国の杜やナセBAの事業を紹介する、施設相互でのポスター・特集コーナーの設置

③評価の実施と分析

内部・外部評価や来館者アンケートを実施し、その結果を分析・反映することで事業やサービスの改善を図る。

④スタッフの育成

新規採用者研修や、定期的な勉強会や研修会を実施し、対応するスタッフとしての資質向上を目指す。

⑤収蔵資料の貸出

年に数回博物館収蔵の美術作品を市内の学校・公共施設に貸し出し、博物館以外で市民が実物資料に触れる心豊かな文化体験の機会をつくる。

⑥図書及び図書館収蔵資料の貸出

自動車文庫「アタゴオル号」を使用し、市内の公共施設、教育施設、福祉施設等を月70箇所程巡回し、広く市民へ図書館のサービスを提供する。また、他館との資料の相互貸借を行う。

3. 資料収集・調査・整理・保管業務

目的

上杉家・米沢藩をはじめとする郷土ゆかりの資料や市民に必要なかつ有用な図書・記録等の収集に努め、収集した資料の調査研究を体系的に進める。また、文化財等の適正な保存・管理に努め、収蔵文化財総合データベースの充実を図る。

(1) 資料調査事業

上杉家及び米沢藩、また置賜・米沢市内ゆかりの歴史・美術資料について追跡・発掘・聞き取りの調査を重点的に進める。

(2) 図書・資料の収集事業

市立米沢図書館資料収集方針及び米沢市上杉博物館資料収集基本方針に基づき、収蔵図書・資料の充実を図る。

(3) 図書・資料の整理・保管事業

1点ごとの資料データを集積し、調査研究、展示、教育普及などに役立てるとともに、一般へ資料の公開・提供・レファレンスサービス・図書館蔵書の貸出を行う。

事業

(1) 資料調査事業

①歴史関連資料

寄託資料の概要調査、収集資料の目録作成と米沢藩及び上杉家ゆかりの資料をはじめとした郷土ゆかりの資料の追跡・発掘調査を充実させる。

調査研究の推進にあたっては、市民、地域の博物館、教育機関、大学、研究機関等との連携、交流を図りながら、情報の集積や人的ネットワークを構築することに努める。

◇資料解読調査員

和田 節子 氏 (元米沢市史編さん専門員)

◇古文書等歴史資料整理員

植木 伸子 氏 (元米沢古文書研究会事務局)

◇資料調査員

小野 榮 氏 (郷土史家)

小林 文雄 氏 (山形県立米沢女子短期大学教授)

布施 賢治 氏 (山形県立米沢女子短期大学教授)

i) 展示予定資料の解読

ii) 上杉邦憲氏寄託資料概要調査

iii) 資料収集に関わる新資料の調査

iv) 米沢藩及び上杉家ゆかりの資料、追跡・発掘調査

v) 受入済資料の整理、調査の充実

②美術関連資料

本年度以降に開催を計画している展覧会の出展予定資料及び郷土出身作家に関する調査を行う。また、調査員を委嘱し、調査の幅を広げ、より多くの情報を収集し集積する。

調査員には米沢出身の近現代作家の作品、所在などを中心に、一次資料の他二次資料の収集も依頼し、現在活躍中の郷土出身作家についても情報を収集する。

◇資料調査員

佐藤 繁 氏（米沢市立松川小学校教頭）

月本 寿彦 氏（茅ヶ崎市美術館学芸員）

村山 鎮雄 氏（美術研究家）

- i) 郷土作家に関する調査
- ii) 現存作家に関する情報収集
- iii) 上杉本洛中洛外図屏風に関する情報の収集と整理
- iv) 作品収集のための調査

③郷土資料

郷土ゆかりの資料（図書・雑誌・古典籍・古文書等）を調査収集し、市民へのレファレンスに幅広く対応する。また郷土資料調査を行い、消失の進む資料、伝承、民俗の記録を残すため報告書を刊行する。調査は昨年度までに11地区終了しており、残す6地区のうち本年度は三沢地区の調査を行う。

(2) 図書・資料の収集事業

購入、寄贈及び寄託については、諸規則等に則って良質な図書・資料の選書・選定に努める。また、米沢藩、上杉家関連資料に関しては他地域への流失が少なくないことから、調査業務を重視し、これを本業務にも反映させる。

(3) 図書・資料の整理・保管事業

I P M（総合有害生物管理）活動を定着させ、収蔵・展示環境の向上を継続的に行う。また、整理の完了した資料の情報をリスト化し、ホームページ上で段階的に公開する。図書及び資料の点検・修理等を適切に行い、管理体制を整える。

年間の主な作業

◇資料管理データベースに関する作業

- ・ 図書館及び博物館新規受入資料の登録（資料、図書、定期刊行物、A V資料、写真等）
- ・ 図書館及び博物館新規受入資料のデジタル化（資料、写真）
- ・ 図書館デジタルライブラリーの更新、追加（郷土資料）
- ・ 図書館が契約するオンラインデータベースの閲覧、視聴、印刷対応

◇図書館及び博物館収蔵資料の解説、調査、公開

◇図書及び収蔵資料の写真撮影

- ・ 展覧会と連動した未撮影資料の撮影

- ◇図書館及び博物館未受入資料の受入作業（クリーニング・登録・ラベリング・収納）
 - ・資料の受入有無の確認
 - ・清水大典資料の整理（継続）
 - ・浜田浜雄関連資料の整理（継続）
 - ・展覧会と連動した資料調査
 - ・井形朝良氏寄贈資料の整理
 - ・高坂家文書の整理
 - ・郷土資料未整理文書の仕分、整理
- ◇図書館及び博物館新規寄贈・寄託資料の調査・受入（継続）
- ◇図書及び収蔵資料の修理・点検
 - ・受入資料の修理
 - ・蔵書の点検
- ◇資料の燻蒸、収蔵スペースのクリーニング、I P Mと環境管理
- ◇図書館蔵書の除籍と廃棄
 - ・亡失や汚破損等で不要となった図書の除籍と廃棄

4. 芸術文化活動の支援・鑑賞事業

目的

多岐分野にわたる、質の高い鑑賞機会を提供するとともに、アマチュア活動の支援を通じた地域の芸術・文化の振興に寄与する。また、能舞台を活用し能楽など伝統文化の普及を図る。

事業

(1) 置賜文化ホール米沢市共催事業（米沢市からの負担金により実施する事業）

良質で低廉な有料公演を開催するとともに、市民の文化活動を支援し、米沢市を中心とする地域住民の文化的水準の向上に資する事業を置賜文化ホールにて展開する。

4月22日（土）	山形交響楽団ユアタウンコンサート2017米沢公演
5月20日（土） 5月21日（日）	よねざわ市民ミュージカル「梵天丸」
7月23日（日）	春風亭昇太・林家たい平二人会
8月19日（土）	AKASAKA木管五重奏団
9月24日（日）	第12回 伴淳映画祭
10月 7日（土）	吹奏楽の日コンサート2017
11月 3日（金・祝）	レ・タンブル&ハルモニア・レニス
1月28日（日）	アキラさんとまこと君 ふたりのオーケストラ
6月～3月	よねざわ市民ミュージカル育成事業 (公演後 継続)

(2) 置賜文化ホール山形県補助事業（山形県からの補助金により実施する事業）

置賜地域の文化拠点施設として、アマチュア活動団体等に活躍・研鑽の場を提供することにより、地域の文化向上とホールの賑わい創出を図る。また、移動式能舞台を活かして住民が能楽に触れる機会を提供し、伝統芸能の普及に努める。

①地域文化力育成事業

3月 4日（日）	伝国の杜オーケストラ演奏会
時期未定	エントランス・ジャズ・ライブ（仮題）

②能楽関係事業

9月10日（日）	平成29年度山形県能楽の祭典
----------	----------------

通年事業	新作こども狂言の台本製作 伝国の杜こども狂言クラブの運営 ・稽古 計15回以上 ・発表 計5回以上 上杉まつり「さくらに舞う会」 山形県能楽の祭典 置賜こども芸術祭 上杉雪灯籠まつり「雪に舞う集い」 伝国の杜こども狂言クラブ春休み発表会
------	--

(3) 米沢市市民文化会館米沢市共催事業（米沢市からの負担金により実施する事業）

芸術、文化、レクリエーションに触れる機会を提供し、その普及振興を図り、米沢市を中心とする地域住民の文化的水準の向上に資する公演を開催する。

9月 2日（土）	米沢市市民文化会館子育て支援事業 ズーラシアンブラス「音楽の絵本」
2月 6日（火）	米沢市市民文化会館にぎわいづくり支援事業 DRUM TAO

(4) 米沢市民ギャラリー自主事業

図書館休館日の毎月第4木曜日にギャラリー展示室内でのコンサートを開催し、中心市街地の活性化につなげる。

5月25日（木）	ウッディコンサート プロ演奏4回、アマチュア演奏4回 木管楽器を中心に、ピアノ、弦楽器、歌唱、合唱など
6月22日（木）	
7月27日（木）	
8月24日（木）	
9月28日（木）	
10月26日（木）	
11月24日（金）	
3月22日（木）	

(5) 米沢市座の文化伝承館自主事業

米沢市座の文化伝承館の指定管理者として実施する無料公演事業。蔵の特性を活用した事業を開催する。

時期未定	笛のコンサート（仮題）
------	-------------

5. 芸術文化活動のための施設貸与事業

目的

(1) 米沢市座の文化伝承館

市民が自主的に伝統的な文化活動を推進しその伝承を図ることを目的に、和室の機能を生かした「座って行う日本文化」の一つの活動拠点として施設を貸与し、地域の芸術文化の振興に寄与する。

(2) よねざわ市民ギャラリー

さまざまな分野の作品に合わせた展示が可能である施設の機能を生かし、市民の多様な芸術文化活動の成果の発表の場として、また、活気あふれる市民の芸術文化活動の拠点として施設を貸与し、地域の芸術文化の振興に寄与する。

事業

施設を貸出基準に照らし、公益性を保ちながら適正に貸与する。また、施設の利用の促進が地域文化の底上げにつながることから、施設情報のPRに努める。

実施2年目となるよねざわ市民ギャラリー管理事業は、引き続き米沢市や関係団体と密に連携しながら適正かつ円滑な管理運営に努める。

6. サポーター運営事業

目的

市民の活力を取り込んだ活発な事業運営を目指し、一般市民がそれぞれの興味・関心・得意分野を活かして当財団事業に参加することができるようボランティア活動の場を提供する。

ボランティア活動を行う市民は「サポーター」と呼び、伝国の杜を活動の場とするサポーターを「伝国の杜サポーター」、図書館を活動の場とするサポーターを「図書館サポーター」とする。

また、活動を通して、サポーターと職員が協働し相互に成長することをねらう。

事業

来館者への館内ガイドや広報活動、資料の整理等、各事業の補助を行う。また、館内研修を行い、学習の機会の確保やサポーター同士の交流を図る。さらに、たよりやホームページ等を活用した外部への広報・発信を強化し、活動の充実と登録者数の増加を図る。

◇伝国の杜サポーター

米沢市上杉博物館の洛中洛外図案内人等の資料解説や図書整理、置賜文化ホールの諸事業における客席案内やもぎり等を行う。

◇図書館サポーター

書架の整理、図書修理、読み聞かせやワークショップはじめイベントの補助、郷土資料の解説やデジタル化、展示事業の支援等の活動を行う。

Ⅱ 収益等事業1 ミュージアムショップ事業

目的

財団運営及び事業展開の安定化の財源とするため、また利用者サービスの充実のため、米沢市上杉博物館のミュージアムショップ及びWebショップにおいて、展覧会図録をはじめ自主製作商品や受託商品の物品販売を行う。

事業

- ・展覧会によって特集を組むなど運営を工夫する。また、開催中展覧会の図録は元より、終了している展覧会の図録も合わせて紹介し、販売促進とともに利用者の利便性向上を図る。
- ・時宜に応じた魅力ある陳列を行うことで、収入の確保に努める。
- ・来館者のニーズを把握し、地元企業などとの連携を図りながら新規商品を開発する。
- ・より広範囲での商品販売のためWebショップ展開を継続する。
- ・Web媒体や広告・情報媒体を活用し、商品のPRを行う。
- ・連携する展覧会に合わせて、委託商品を充実させ販売促進を図る。
- ・市立米沢図書館と連携し、博物館の展覧会図録や郷土資料刊行物等出版物を相互に販売する。

Ⅲ 収益等事業2 施設貸与事業

目的

米沢市から指定管理者として受託する米沢市上杉博物館会議室及び米沢市まちなか駐車場の貸出業務を行う。

事業

施設を貸出基準に照らし適正に貸与する。

米沢市まちなか駐車場管理事業は2年目の管理業務となる。初年度の反省や課題を踏まえ、引き続き米沢市や関係団体と密に連携して適正かつ円滑な管理運営に努める。

また、利用者のニーズを把握し、設置者である米沢市と連携して利用促進に努める。

IV 収益等事業3 伝国の杜ファンクラブ事業

目的

米沢市上杉博物館と置賜文化ホールの利用や活用、財団事業への参加を通し、会員への興味・関心に応えるとともに、相互の親睦を図り、伝国の杜を支えるコアを育てる。会員の定着をめざし、会員数350人を目標とする。

事業

- ・会報及び自主事業情報の送付
- ・米沢市上杉博物館常設展示室・企画展示室への入館特典の付与
- ・置賜文化ホール主催事業のチケット先行予約・割引販売（一部公演除く）
- ・ミュージアムショップにて展覧会図録・オリジナル商品の10%割引販売
- ・募集制ワークショップへの無料参加（会員1名につき1回。一部プログラム除く）
- ・ファンクラブ会員限定事業の開催

今年度も継続してPRと特典の見直し等を行っていく。

V 管理部門

- ・ 関係法令及び諸規程、契約・協定を遵守し適正な管理を行う。
- ・ 公益性を高めるため利用者や事業の参加者数の確保、経営基盤の安定化のため収入の確保に努める。
- ・ 施設個々の機能の向上と発揮に努めるとともに、施設相互の適切な連携に努める。特に市立米沢図書館等は管理運営2年目となるため、関係機関との連携強化や情報交換を積極的に行い、十分な市民サービスを提供できるように努める。
- ・ 米沢・上杉の歴史と文化を発信し、文化及び観光の交流拠点をめざす。
- ・ 入場者と職員の安心・安全を第一に、施設設備の保全及び危機管理に取り組む。
- ・ 複数の内部評価・外部評価に取り組み、運営やサービスの改善に努める。
- ・ 米沢市上杉博物館と置賜文化ホールで実施する事業等の適切な運営を図るため、伝国の杜運営協議会を年2回開催する。また、市立米沢図書館とよねざわ市民ギャラリーについてもナセBA運営協議会を設置し、年2回の会議を開催する。
- ・ 職員の資質向上のため、内部研修を実施するほか外部研修等へ積極的に派遣する。
- ・ まちづくりネットワークと連携し、にぎわいと活力あるまちづくりに寄与する。